第1章 計画の策定にあたって

※1 **経済協力開発機構（ＯＥＣＤ）**
国際経済全般について協議することを目的とした国際機関。主な活動はマクロ経済運営のための国際協力のほか新たな社会問題への対応として少子高齢化に伴う諸問題や生涯学習・学校教育などの社会問題の分析なども行っています。

※2 **国際学習到達度調査（ＰＩＳＡ）**
41か国276千人の15歳の男女の読解力・数学的応用・科学的応用力・問題解決能力について調査。日本では無作為に抽出された6，400人の高校1年生が参加。

１．計画策定の背景

（１）全国的な状況

子どもたちが夢と希望を持ち、健やかに育つためには、学校における教育活動の充実はもとより、学校・家庭・地域社会が一体となり子どもの生活全体を見直し、様々な活動を経験させ、自らが学び自らが考える力や豊かな人間性などの「生きる力」を育むための環境作りが求められています。

とりわけ読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものと考えられます。

そのため、平成１３年１２月には「子ども読書活動の推進に関する法律」が施行となり、また都道府県・市町村の役割として、計画策定に努めることが明記されました。

法律が施行された当時の日本の状況は、※1経済開発協力機構（ＯＥＣＤ）が平成１６（2004）年に公表した※2国際学習到達度調査（ＰＩＳＡ）によると、日本の成績は「読解力」についてＯＥＣＤ加盟国の平均点を下回り、１４位と発表されました。「読解力」１位のフィンランドが「読書文化が浸透している国」と言われる一方、日本では本を読まなくなったことに加え、「趣味としての読書をしない」子どもの率が高く、テレビやビデオを見る時間は最長とされていました。

この国際学習到達度調査は３年ごとに行われ、平成24（2012）年に実施した調査結果では「読解力」が４位、「科学的応用力」も４位、「数学的応用力」は７位と上昇しました。日本の順位は、これまで00年調査ではトップクラスでしたが、03年調査と06年調査で連続して急落しています。このため文部科学省は平成19年度から全国学力テストを実施するなど学力向上対策に取り組み、2009年調査で「読解力」が15位から８位に回復、「脱ゆとり路線」の成果が着実に表れた結果と報道されました。

（２）網走市における取組

この法律制定を受け、北海道は平成１５年１１月に『北海道子どもの読書活動推進計画』、当市においても平成１７年７月に『網走市子ども読書活動推進計画（通称「あばしり子ども読書プラン」）』を定め、それぞれ子どもの読書活動の推進を行うための基本計画を策定しました。

当市においては平成１７年の第1次プランを基に平成２２年度に見直しを行い、平成２２～２６年度を期間とする第２次プランを策定しました。この第２次プランは平成２６年度をもって計画期間が満了となることから、現状を踏まえて見直しを行い、子どもたちの読書環境の充実や読書活動の一層の推進を図るため、『第３次あばしり子ども読書プラン』を策定するものです。

２．計画の目的

この計画は、本市の子どもたちが読書活動をとおして豊かな感性や創造力、じっくり考え自ら判断する力を身につけるため、子どもの発達段階に応じて読書に親しむ環境を整えていくことを目的として策定します。

３．計画の対象

この計画の対象は、主に０歳から１８歳（高校生）までの子どもを対象とします。

また、子どもの読書活動の推進に関わる保護者はじめ、市民ボランティアや地域住民、行政関係団体も対象となります。

４．計画の期間及び評価

本計画の計画期間は平成２７～３１年度までの５年間とし、必要に応じて計画の見直しを行うものとします。

５．計画の基本方向

この推進計画は、次の３項目を柱とし、子どもの読書活動の推進を目指します。

（１）「みんなで読書」

子どもの読書は家庭や周囲の環境が大きく影響を及ぼすと言われ、子どもと共に周囲の人が読書することにより読書への興味や関心が芽生えます。家庭や地域を中心に、大人も子供も「みんなで読書」が出来る環境づくりを進めます。

（２）「楽しく読書」

読み聞かせは親子の温かい人間関係を育み、子どもの精神的な安定感や基本的生活習慣を培うと言われ、また子どもは本との出会いから言葉や文字を学び感性や表現力をなど培うと言われます。子育てや家庭教育の支援となるような「楽しく読書」ができる読書活動の推進を図ります。

（３）「どこでも読書」

日常生活において子どもが読書に親しめるよう幼稚園・保育所・小中学校・高校・養護学校での読書活動や、図書館における市民の読書活動など、網走市民の読書活動を充実させます。身近な場所で「どこでも読書」ができる環境をつくり、子どもの読書機会の充実を図ります。

第2章 子どもの読書活動の現状

※3 **網走市子どもの読書活動に関するアンケート調査**
網走市の０歳児から高校生までを対象に、個別のアンケート用紙に記載いただくか、質問を学級担任が読み上げ、挙手による集団聞き取り方式のどちらかで実施し、子どもたちの読書活動の傾向を調査しました。

網走市では、「あばしり子ども読書プランⅢ」の策定にあたり、「※3網走市子どもの読書活動に関するアンケート調査」を実施しました。アンケートは１次プラン・２次プランの策定にあたり実施したアンケートと同じ内容で調査を行い、計画の事業効果を図るものとしました。

調査は平成２６年８月に行い、定期健康診断等への参加乳幼児の保護者、幼稚園・保育園に通園している子どもの保護者、また小学校・中学校・高等学校（養護学校を含む）では学校を通じて児童や生徒への調査を行いました。幼稚園・保育園等の１６園では、園としての取り組み状況アンケートも実施しました。

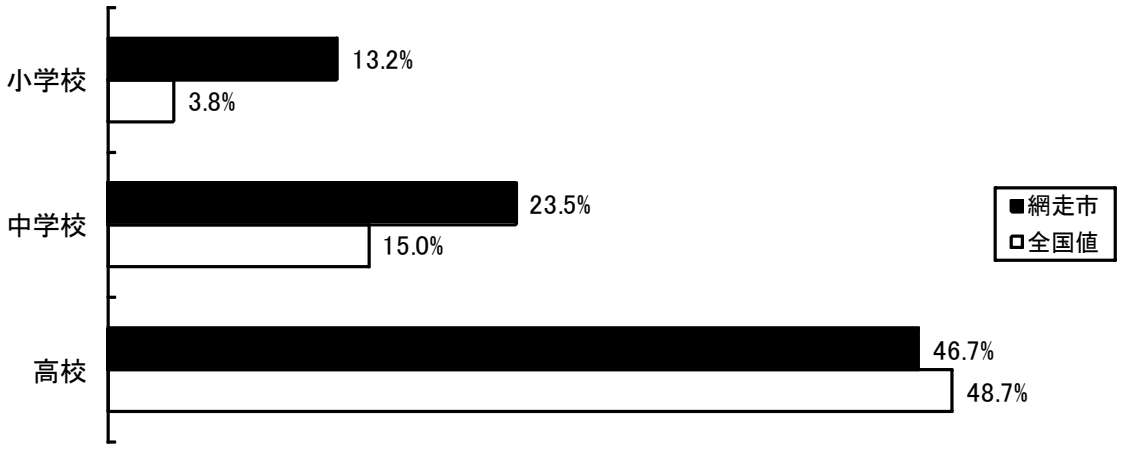
アンケート回答数　　4,166 名（詳細は資料編で掲載）

１．小・中・高校生の読書について

（１）読書量について

平成２６年５月を対象に実施された※4第６０回学校読書調査のデータによると、１カ月に１冊も本を読まなかった子どもの割合は小学生が全体の３．８％、中学生が１５．０％、高校生が４８．７％となっています。また１か月に読む本の冊数は、小学生が１１．４冊、中学生が３．９冊、高校生が１．６冊となっています。

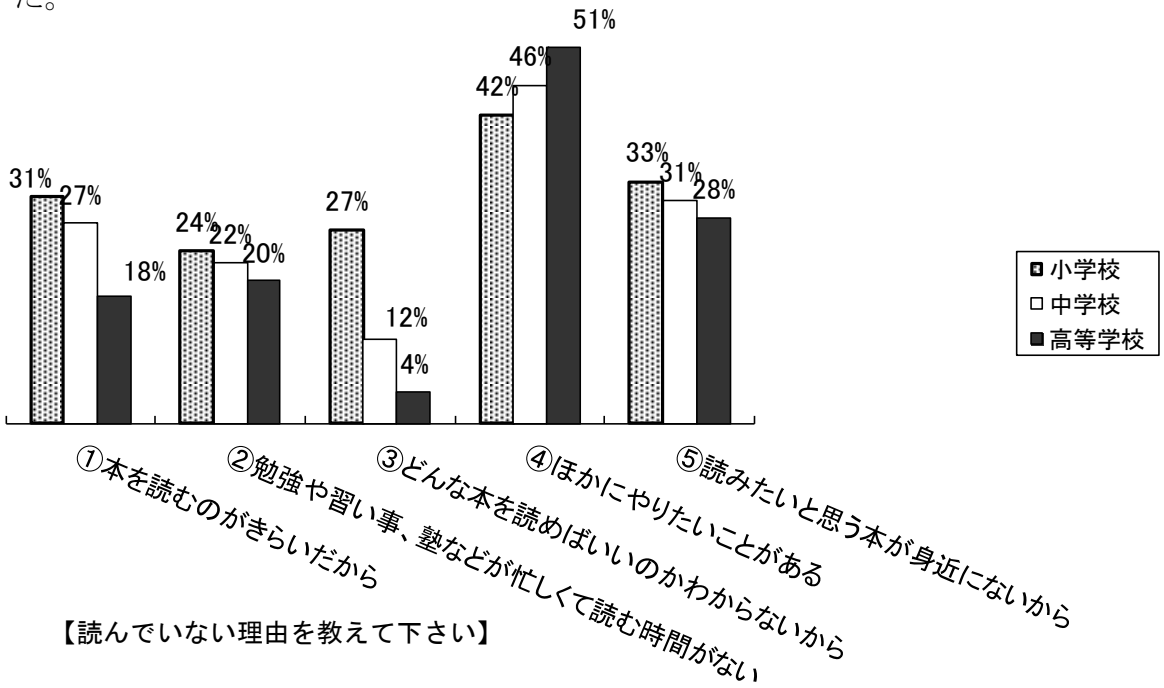
今回行った「網走市子どもの読書活動に関するアンケート調査」では、１カ月に１冊も本を読まなかった子どもの割合は小学生が１３．２％、中学生が２３．５％、高校生が４６．７％となっており、小学生と中学生では全国的な傾向に比べて本を読まなかった子の割合が多い結果になりました。



【１カ月に１冊も本を読まなかった子どもの割合（不読率）】
網走市：網走市子どもの読書活動に関するアンケート調査（平成２６年８月）
全国値：第６０回学校読書調査（平成１６年５月）

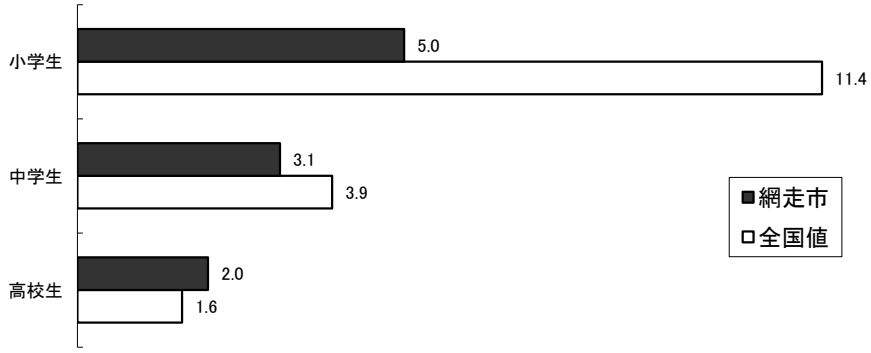
※4 **第60回学校読書調査**
平成26年5月に全国学校図書館協議会が毎日新聞社と共同で、全国の小・中・高等学校の児童生徒の読書状況について調査をしたものです。詳細なデータは平成27年3月に発行される「読書世論調査二〇一五年版」（毎日新聞社）に掲載予定です。

本を読まない理由としては、小学生・中学生・高校生全てで「ほかにやりたいことがあるから」が第１位で、次いで「読みたいと思う本が身近にないから」となっています。第３位には、小学生・中学生が「本を読むのがきらいだから」、高校生では「勉強や習い事、塾などが忙しくて読む時間がないから」となりました。



【読んでいない理由を教えて下さい】

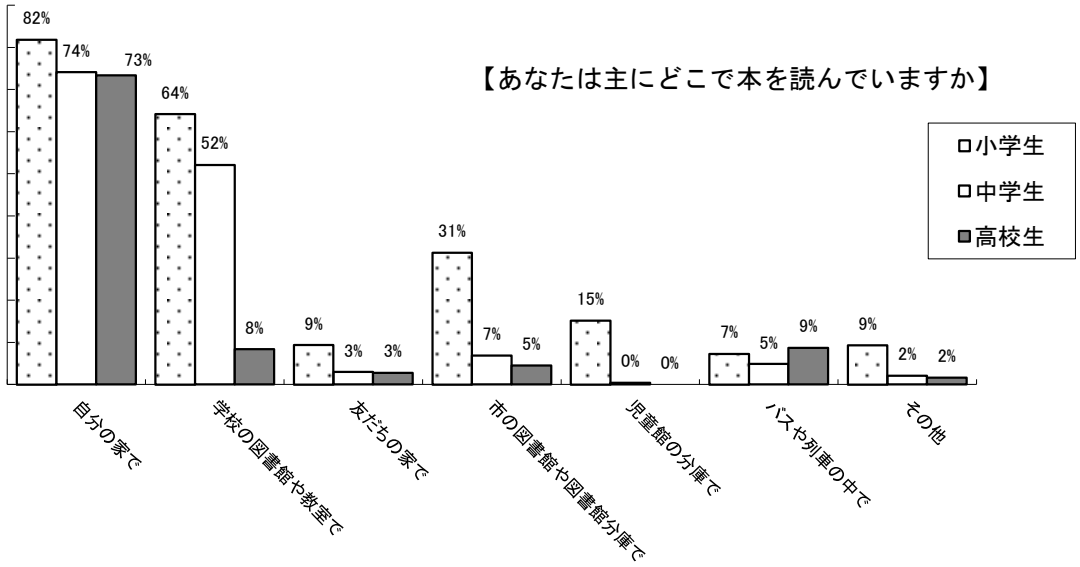
また、１ヶ月に読む本の平均冊数では、小学生が５．０冊、中学生は３．１冊、と全国値を下回りましたが、高校生は２．０冊と全国値より多くなっています。



【１か月に読む本の冊数】
網走市：網走市子どもの読書活動に関するアンケート調査（平成２６年８月）
全国値：第６０回学校読書調査（平成２６年５月）

（２）．読書環境について

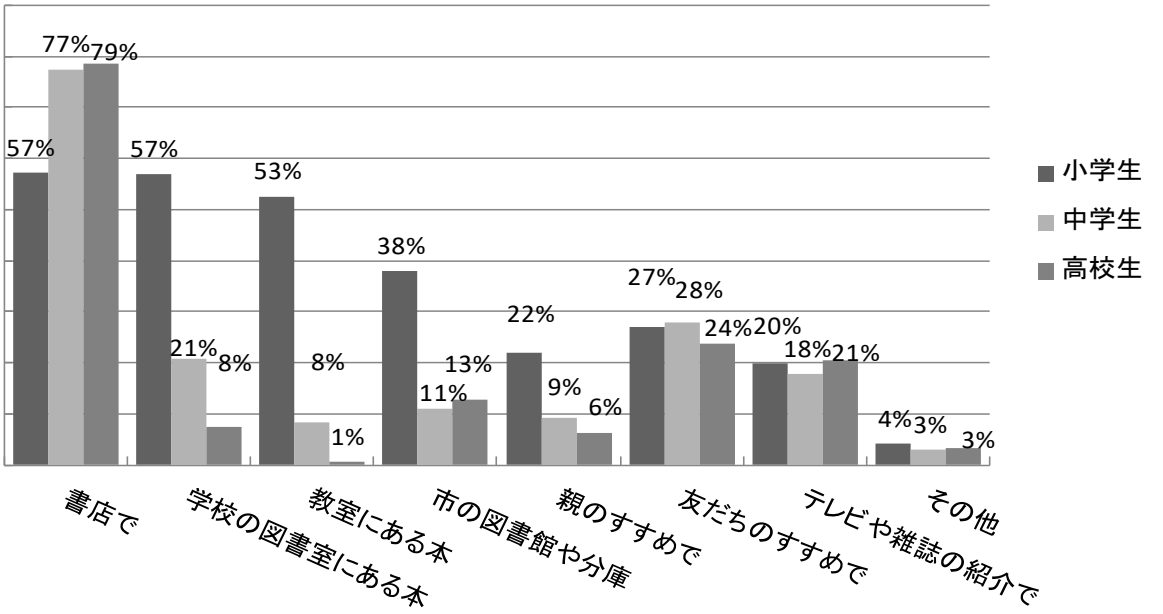
「あなたは主にどこで本を読んでいますか」という問いに対しては、小学生は「自分の家で」が一番多く、次いで「学校の図書館や教室で」「市の図書館や図書館分庫で」「児童館の分庫で」となっています。中学生も「自分の家で」「学校の図書館や教室で」が上位に入っており、高校生は、「自分の家で」がほとんどですが、「バスや列車の中で」「学校の図書館や教室で」などが並んでいます。小学生、中学生、高校生とも７０％以上が自分の家で読書をしています。



（３）読書の傾向について

「あなたは、どのようにして自分で読む本を選びますか」という問いには、小学生が「書店で選んで買って読む」「学校の図書室にある本を選んで読む」「教室にある本を選んで読む」「市の図書館や分庫に行って選んで借りて読む」の順番になっており、中学生では「書店で選んで買って読む」「友だちが『おもしろいよ』と教えてくれた本を読む」「学校の図書室にある本を選んで読む」「市の図書館や分庫に行って選んで借りて読む」「テレビや雑誌などで紹介している本に興味を持って読む」となっています。高校生では「書店で選んで買って読む」「友だちが『おもしろいよ』と教えてくれた本を読む」「テレビや雑誌などで紹介している本に興味を持って読む」「市の図書館や分庫に行って選んで借りて読む」となっています。

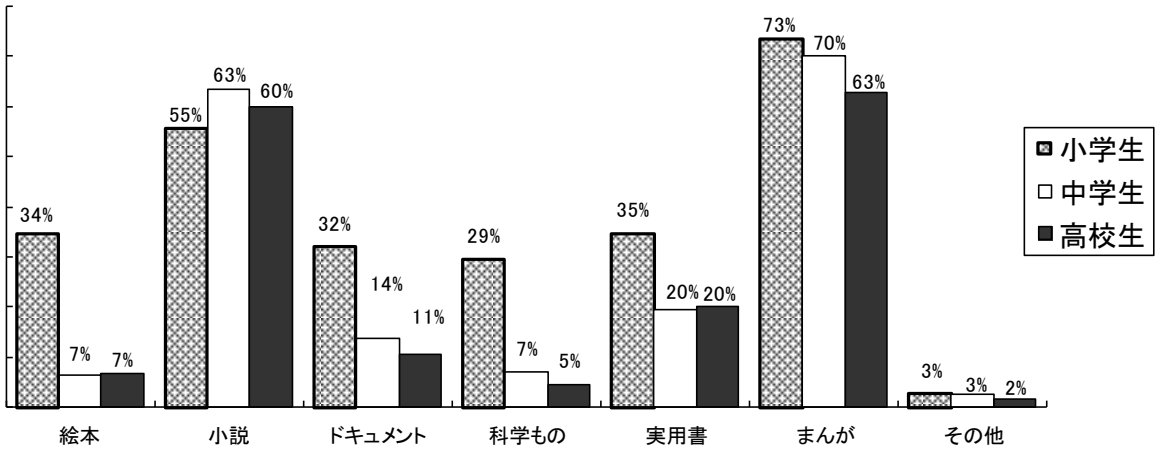
学齢が上がるにつれて本を選択する手段が能動的で視野を広げて選択しているのがわかります。



【あなたは、どのようにして自分で読む本を選びますか】

また、「あなたはどんな内容の本が好きですか」という問いでは、小学生は「まんが（コミック・週刊誌などを含む)」、「小説（物語・童話など)」、「実用書（趣味・スポーツなど)」、「絵本」「科学もの（恐竜・病気などを含む)」の順番になっており、中学生・高校生では「まんが（コミック・週刊誌などを含む)」と「小説（物語・童話など)」がほぼ同程度で、次いで「実用書（趣味・スポーツなど)」となっています。

どの年代も一番読まれているのは「まんが（コミック・週刊誌などを含む)」ですが、小学生から中学生・高校生になるにつれてその率は低くなっています。

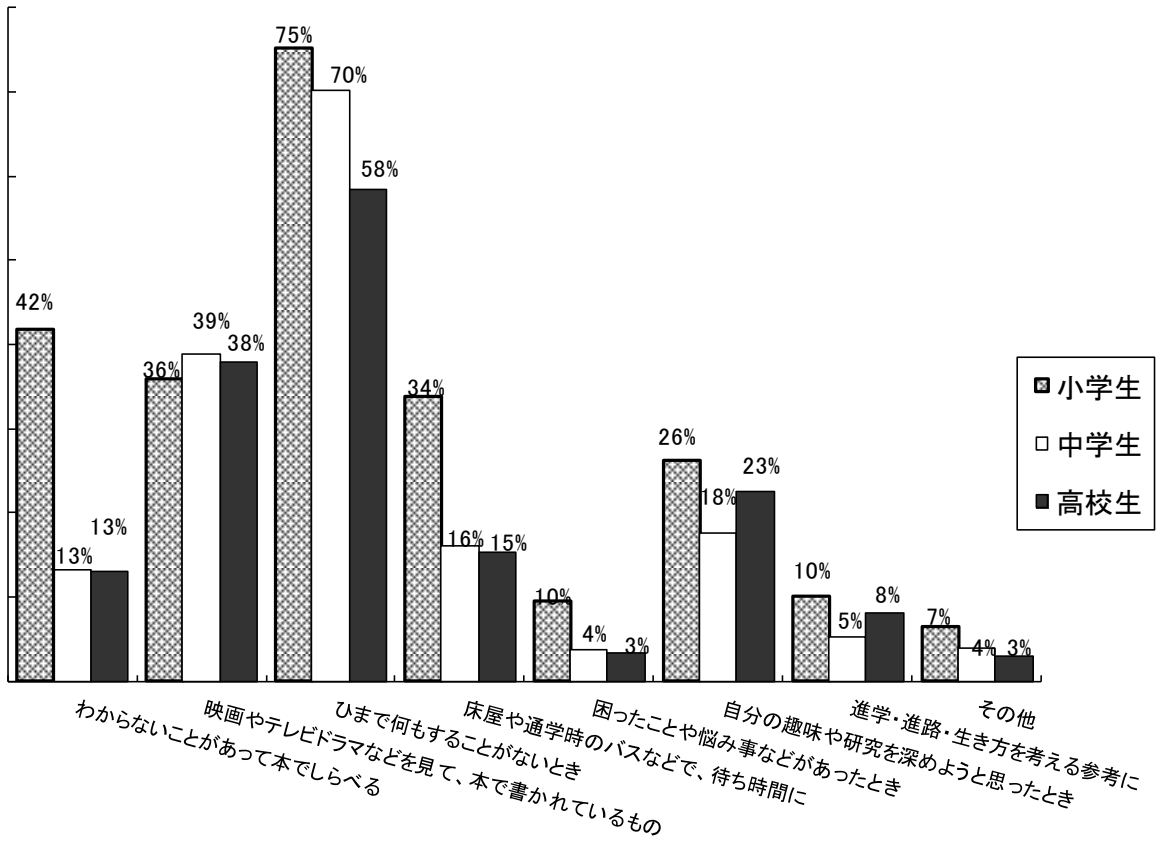


【あなたはどんな内容の本が好きですか】

（４）読書の位置付けについて

子どもたち自身が、「どういうときに本を読みたいと思いますか」という問いには、小学生・中学生・高校生とも「ひまで何もすることがないとき」が多く、小学生では総合的な学習の時間と関わって「わからないことがあって本でしらべようと思ったとき」や「自分の趣味や研究を深めようと思ったとき」が若干多くなっています。

全世代を通して「映画やテレビドラマなどを見て、本で書かれているもの（原作）を読んでみたいと思ったとき」という回答も３０％以上ありますが、「困ったことや悩み事などがあったとき」や「進学・進路・生き方を考える参考に」のための読書は少数で、積極的に読書に取り組むというよりは何もすることが無いときの時間の過ごし方のひとつとなっているようです。

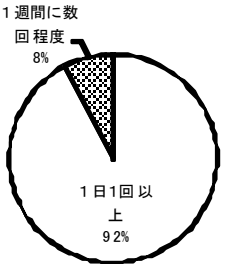


【あなたは、どういうときに本を読みたいと思いますか】

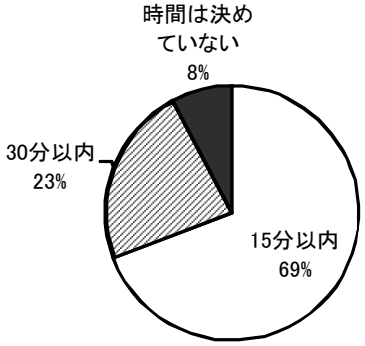
２．幼稚園・保育園等におけるよみきかせについて

幼稚園･保育園でのよみきかせについて質問したところ、回答のあった幼稚園・保育園すべてで１日１回または１週間に数回の「よみきかせ」の時間をとっており、幼稚園・保育園での「よみきかせ」は定着しています。

また、１回の「よみきかせ」の時間は６９％の園が１５分以内、２３％の園が３０分以内でした。読み手としては全ての園で職員が行っており、保護者やボランティアに参加していただいている園もありました。



【どのくらいの回数で行っていますか】



【１回の時間はどのくらいですか】

また、「よみきかせに必要な本はどのように確保していますか」という問いには、全園が「園（センター）で購入」と答え、次に「図書館から借りる」という回答でした。

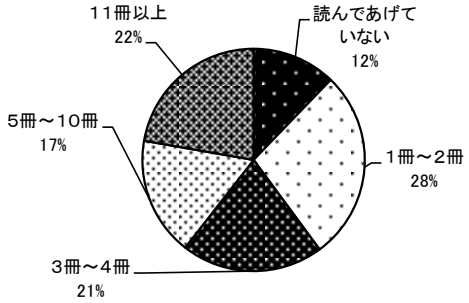
「よみきかせ以外の読書活動について」聞いたところ、「各部屋に絵本を置き、自由に読んでいる」「外遊びや散歩の後に図鑑で草花や昆虫を調べている」「パネルシアター」「園の絵本を貸し出している」という活動が記述されました。

「読書活動を進める上での問題点や日頃考えていること」について聞いたところ、「読み聞かせ」は子どもたちの「心を豊かにする」効果があると考え、「子どもの心の育ちを願い保育の中でたくさん行っており、同時に家庭でもふれあう時間をとっていただきたいと思い絵本の貸出も行っている」「絵本を通していろいろな世界に触れることが出来るので子どもたちは楽しんでいます」という感想意見がありました。また「子どもの理解力、創造力が低下しているので、絵本を選ぶ時に配慮が必要」「集中できない子が多い」「絵本確保がたいへん」など悩みの記述もありました。

３．就学前の子どもの読書について

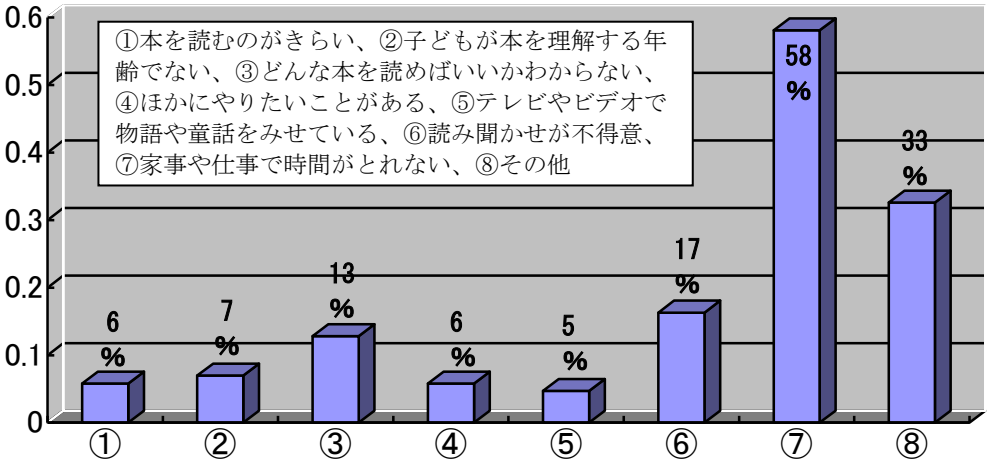
乳児や幼児を育てる保護者の読書活動に関する現状を知るため、市内の幼稚園と保育園、認定こども園の協力を得て保護者のアンケート調査を実施しました。また、保健センターで実施している８カ月児健康相談と１歳６カ月児健康診査、3 歳児健康診査への参加保護者のアンケート調査も行いました。

「あなたのお子さまに１ケ月平均何冊の本を読んであげていますか」という問いに「読んであげていない」が１２％、「１～２冊」２８％「３～４冊」が２１％という結果になりました。



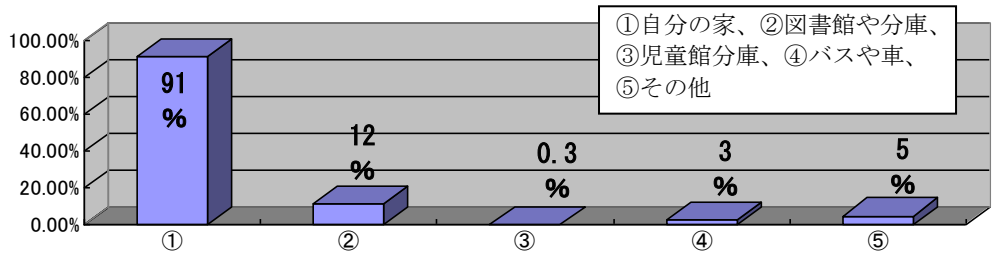
【あなたのお子さまに１ケ月平均何冊の本を読んであげていますか】

「読んであげていない」理由としては「⑦家事や仕事で読んであげる時間がとれない」「⑥読み聞かせが不得意だから」などのほか、「⑧その他」が挙げられました。



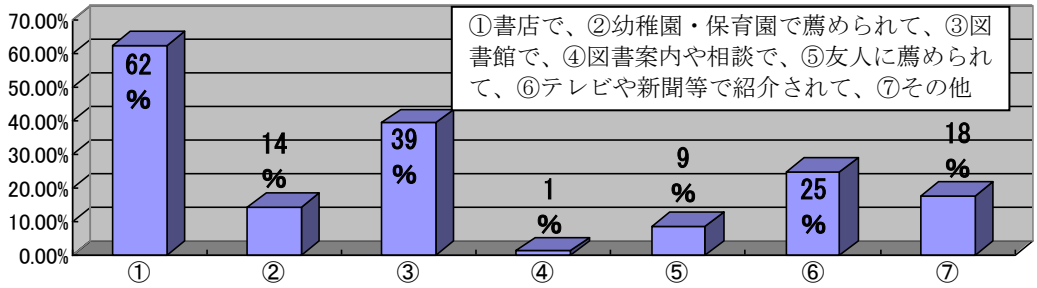
【読んであげていない理由を教えて下さい】

「主にどこで本を読んであげていますか」の問には、９１％が「①自分の家で」と答えました。「②市の図書館や図書館分庫で」が１２％、「⑤その他」という回答も５％ありました。



【主にどこで本を読んであげていますか】

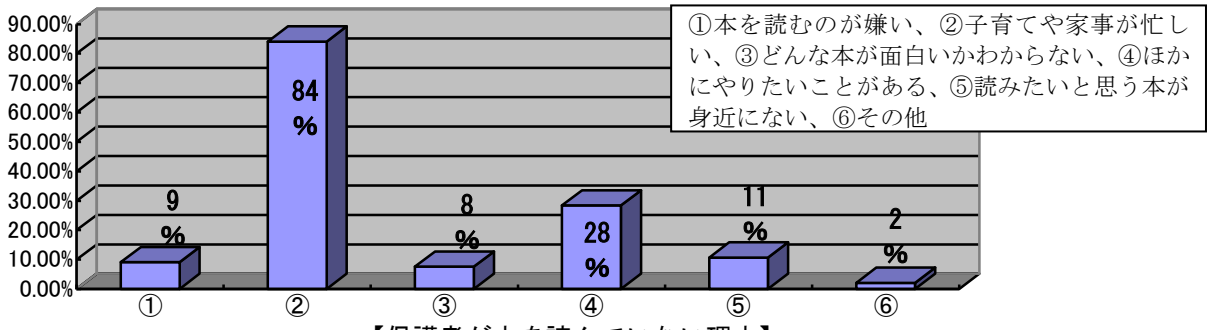
「お子さまへの本をどのようして選びますか」の問いには、「①書店で、選んで」が６２％、「③市の図書館や分庫に行って」が３９％と答えています。「⑥テレビやラジオ、新聞、雑誌などで紹介している本に興味をもって」（２５％）や「②幼稚園・保育園などから薦められて」（１４％）など周囲の薦めも多いようです。



【お子さまへの本をどのようにして選びますか】

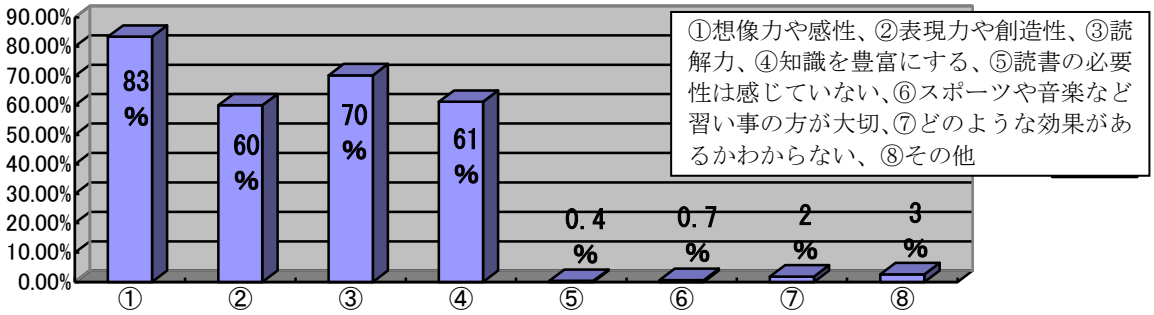
保護者自身の読書量について聞いたところ、「読んでいない」が５５％と、全体の半数以上を占めました。

「読んでいない」理由についてたずねたところ「②子育てや家事、仕事が忙しくて読書の時間がとれないから」が８４％で一番多く、次いで「④ほかにやりたいことがあるから」が２８％、「⑤読みたいと思う本が身近にないから」が１１％となっています。



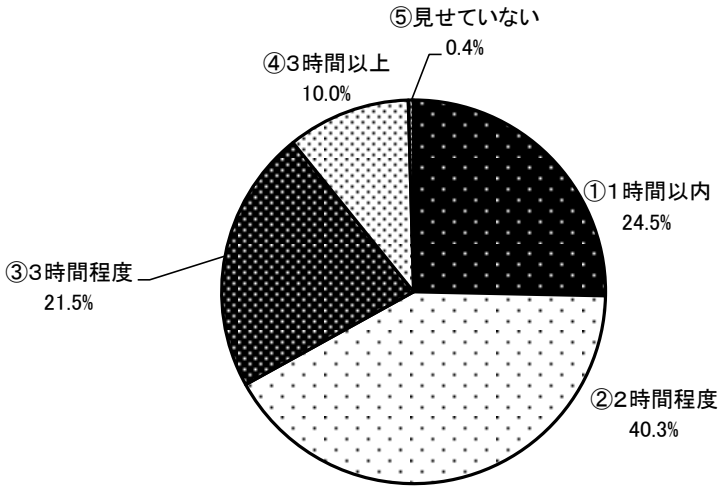
【保護者が本を読んでいない理由】

「お子さまの成長に読書はどのような効果があると思いますか」の問いには、「①想像力や感性を育てる」「②表現力や創造性を育てる」「③読解力を養う」「④知識を豊富にする」が多く、「⑤読書する必要性は感じてない」「⑥スポーツや音楽などの習い事の方が成長に大切だ」との回答はわずかでした。



【お子さまの成長に読書はどのような効果があると思いますか】

「お子さまがテレビやＤＶＤを見ている時間は１日平均どのくらいですか」の問いには、「②２時間程度」が一番多く４０％、次いで「①１時間以内」２５％、「③３時間程度」２２％となっています。「⑤見せていない」は０．４％でした。



【お子さまがテレビやＤＶＤを見ている時間は１日平均どのくらいですか】

第３章 子どもの読書活動の傾向

※5 26年全国値　第60回学校読書調査の結果。平成26年5月に全国学校図書館協議会が毎日新聞社と共同で、全国の小・中・高等学校の児童生徒の読書状況について調査をしたものです。詳細なデータは平成27年3月に発行される「読書世論調査二〇一五年版」（毎日新聞社）に掲載予定です。

１．第１次・第２次プランのアンケート結果との比較

今回実施した「網走市子どもの読書活動に関するアンケート調査」の結果を、５年前と１０年前に実施したアンケート結果と比較を行いました。

【アンケート回答数】

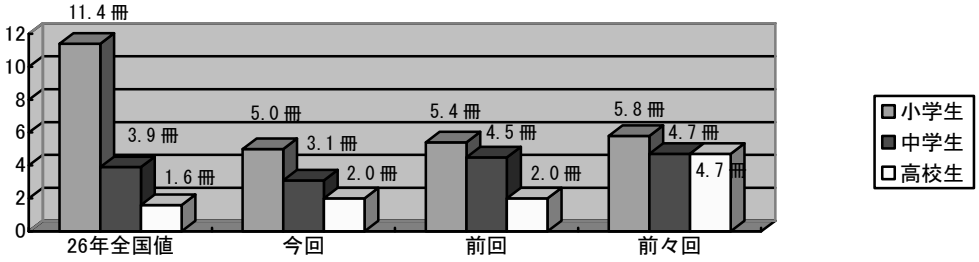
	実施時期	就学前	小学生	中学生	高校生	計
今　回	平成 26 年 8 月	697	1,827	699	943	4,166
前　回	平成 22 年 2 月	264	1,895	495	577	3,231
前々回	平成 16 年 12 月	225	2,187	1,046	1,049	4,507

２．小・中・高校生の読書について

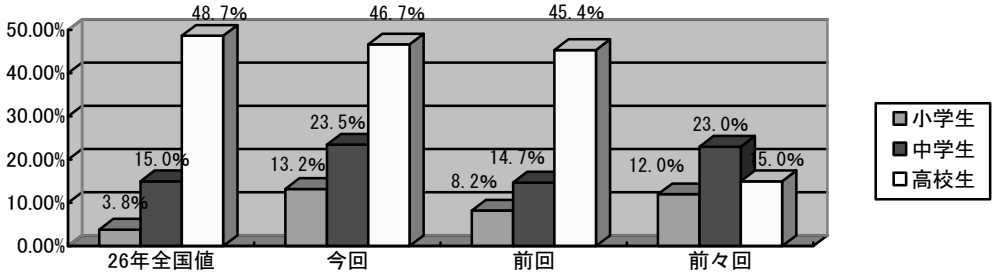
（１）読書量について

今回のアンケート調査の結果では、網走市の子どもたちの１カ月の読書量は、小学生では５．０冊、中学生では３．１冊、高校生では２．０冊となりました。

前回・前々回の調査との比較では、それぞれ読書量が減少している結果となりました。※5 ２６年全国値との比較では次のとおりです。



不読者数（調査時点での１カ月で読んだ本が０冊）については、小学生１３．２％、中学生２３．５％、高校生４６．７％となりました。高校生では、この１冊も読書をしなかった生徒の割合が１０年前には全国値と比較すると３分の１程度でしたが、５年前と今回では全国的な傾向と同様な結果になっています。



（２）読書環境について

「あなたは主にどこで本を読んでいますか」の問いには、前回・前々回と変わらず「自分の家で」が主な読書の場所であり、小・中学生は２番目に「学校の図書館や教室で」となっています。

【主にどこで本を読みますか】　複数回答による回答数/回答者数　単位：％

	今回調査			前回調査			前々回調査		
	小学生	中学生	高校生	小学生	中学生	高校生	小学生	中学生	高校生
自分の家で	81.8	74.1	73.4	76.7	90.7	91.2	80.4	25.7	74.2
学校の図書館や教室で	64.2	52.1	8.4	53.9	14.3	12.1	57.7	11.5	9.5
友達の家で	9.4	3.0	2.8	11.4	13.1	7.1	19.8	7.0	10.8
市の図書館や図書館分庫で	31.3	6.9	4.5	25.8	6.5	8.3	36.5	0.6	7.9
児童館の分庫で	15.2	0.4	0.0	10.7	0.2	0.2	15.2	2.4	0.3
バスや列車の中で	7.3	4.9	8.7	4.2	5.5	13.9	11.2	6.3	8.9
その他	9.3	2.1	1.6	5.6	5.3	5.0	13.0	79.9	11.6

（３）読書の傾向について

「あなたは、どのようにして自分で読む本を選びますか」の問いには、「書店で選んで買って読む」が多く、大人に近づくにつれその傾向は高まっています。小学生では「教室にある本を選んで読む」が調査ごとに数値が高くなっています。

【本をどのようにして選びますか】　複数回答による回答数/回答者数　単位：％

	今回調査			前回調査			前々回調査		
	小学生	中学生	高校生	小学生	中学生	高校生	小学生	中学生	高校生
書店で選んで買って読む	57.2	77.4	78.5	50.4	71.1	71.2	53.2	61.5	54.0
学校の図書室にある本を選んで読む	57.0	20.9	7.5	38.2	13.5	10.4	43.8	8.1	4.8
教室にある本を選んで読む	52.6	8.3	0.8	45.2	1.0	0.9	39.7	0.9	0.2
市の図書館や分庫に行って選んで借りて読む	38.0	11.0	12.8	32.6	11.5	19.6	40.1	16.3	16.9
親などが選んですすめてくれた本を読む	21.9	9.2	6.4	20.6	6.9	8.5	24.9	8.9	5.6
友だちが「おもしろいよ」と教えてくれた本を読む	26.9	27.9	23.9	20.0	21.0	35.4	29.8	30.2	24.8
テレビや雑誌などで紹介している本に興味を持って読む	19.8	17.9	20.6	9.6	7.3	22.7	12.9	14.9	14.0
その他	4.3	3.1	3.3	5.0	7.1	12.1	10.0	9.4	8.1

また、「あなたはどんな内容の本が好きですか」の問いには、各世代共に「まんが（コミック・週刊誌などを含む)」が 1 位でしたが、次の「小説（物語・童話など)」も「まんが（コミック・週刊誌などを含む)」にせまる率でした。

【どんな内容の本が好きですか】　複数回答による回答数/回答者数　単位：%

	今回調査			前回調査			前々回調査		
	小学生	中学生	高校生	小学生	中学生	高校生	小学生	中学生	高校生
絵本	34.4	6.6	6.7	23.8	2.4	9.5	53.2	3.6	6.8
小説（物語・童話など）	55.4	63.4	59.9	48.4	45.1	61.5	43.8	46.3	42.5
ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ･ﾙﾎﾟﾀｰｼﾞｭ（本当の話・歴史・伝記等）	31.8	13.9	10.5	29.8	12.1	15.8	39.7	13.2	9.4
科学もの（恐竜・病気などを含む）	29.4	7.0	4.5	25.6	4.2	8.0	40.1	4.2	4.0
実用書（趣味・スポーツなど）	34.5	19.6	20.0	33.5	24.6	22.5	24.9	21.7	20.1
まんが(ｺﾐｯｸ・週刊誌などを含む)	73.2	70.1	62.8	73.7	81.6	70.9	29.8	76.4	57.1
その他	2.7	2.7	1.8	5.4	3.8	7.6	10.0	4.1	4.6

（4）読書の位置づけについて

「どういうときに本を読みたいと思いますか」の問いには、消極的読書となる「ひまで何もすることがないとき」が各世代で 1 位でした。自発的読書では、中学生・高校生は「映画やテレビドラマなどを見て」、小学生では「わからないことがあって本で調べようと思った」が上位になっています。

【どういう時に本を読みたいと思いますか】複数回答による回答数/回答者数単位：%

	今回調査			前回調査			前々回調査		
	小学生	中学生	高校生	小学生	中学生	高校生	小学生	中学生	高校生
わからないことがあって本で調べようと思った	41.9	13.3	13.1	32.5	11.1	14.7	28.6	11.7	11.3
映画やテレビドラマなどを見て、本で書かれているもの（原作）を読んでみたいと思ったとき	36.0	38.9	37.9	28.4	28.7	37.4	54.3	28.4	27.2
ひまで何もすることがないとき	75.2	70.1	58.4	75.4	72.5	60.0	31.9	71.9	69.0
床屋や通学時のバスなどで、待ち時間があるとき	33.9	16.0	15.3	51.9	27.3	26.9	34.8	25.4	24.4
困ったことや悩み事などがあったとき	9.5	3.7	3.4	10.9	3.6	4.9	40.5	4.5	4.3
自分の趣味や研究を深めようと思ったとき	26.3	17.5	22.5	24.1	22.4	25.8	82.9	17.0	16.4
進路・進学・生き方を考える参考に	10.1	5.2	8.0	6.5	2.2	10.1	37.5	5.8	5.6
その他	6.5	3.9	3.0	11.1	9.3	14.2	7.9	11.5	11.1

３．幼稚園・保育園等におけるよみきかせについて

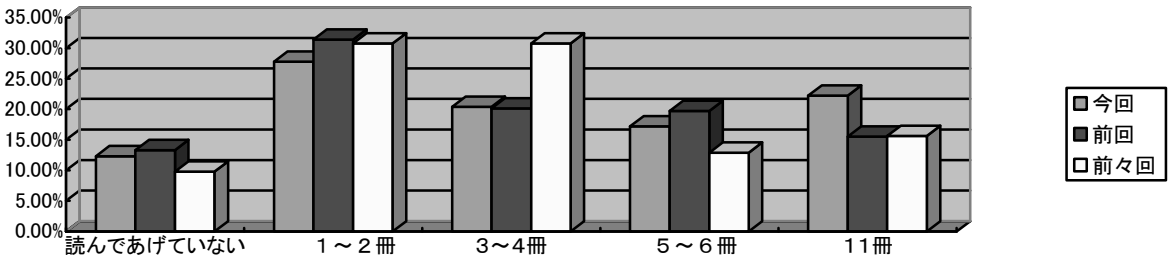
幼稚園・保育園等における読書活動及び読書環境の調査を市内１３園のご協力で実施しました。

「よみきかせ」は今回の調査でもすべての園で行われていました。「１回の時間」は前回調査まで「１５分以内」でしたが、今回の調査で「３０分以内」が３園ありました。「よみきかせを行っている方」をお聞きしますと職員・保護者のほかに今回初めて「ボランティア」がありました。「よみきかせに必要な本」は全ての園で購入されており、「図書館から借りる」という園が今回の調査で増えてきています。

４．就学前の子どもの読書について

（１）読書量について

就学前の子どもに対し保護者などが１カ月で本を読んであげている状況は、今回の調査では 5.5 冊となりました。前回調査の月平均 5.9 冊は下回りましたが、前々回調査の月平均 5.4 冊とほぼ同様の冊数でした。3 回目の調査で「月平均 11 冊以上」が初めて 20%を超えましたが、一方で「読んであげていない」が前回同様の 12.2%ありました。



【１ケ月平均何冊の本を読んであげていますか】

【読んであげていない理由】複数回答/回答者　単位：%

また、「読んであげていない理由」では今回も「家事や仕事で読んであげる時間がとれない」が主な理由となっています。

	今回	前回	前々回
本を読むのがきらいだから	5.8	5.7	0.0
子どもがまだ本を理解する年齢ではないと思うから	7.0	14.3	4.5
どんな本を読ませればいいのかわからないから	12.8	14.3	0.0
ほかにやりたいことがあるから	5.8	0.0	0.0
テレビやビデオで物語や童話を見せているから	4.7	2.9	13.6
「よみきかせ」が不得意だから	16.3	11.4	0.0
家事や仕事で読んであげる時間がとれないから	58.1	34.3	36.4
その他	32.6	34.3	72.7

※6 **ブックスタート支援事業**
家庭における子供の読書活動の推進事業として、保護者に乳幼児期からの絵本とふれあうための機械の提供などを行う事業。
当市においては平成二十三年度より四カ月定期健診時に絵本二冊をプレゼントし、あわせてパンフレットで絵本の紹介、赤ちゃん名の貸出カード作成などを働きかけている。

※7 **０歳児からの読み聞かせ**
ブックスタートで図書館利用を働き掛けた赤ちゃんとその保護者向けに、図書館デビューのきっかけとするための読み聞かせ会。平成二十三年度より毎月第三水曜日に市立図書館で行っている事業。

（２）読書環境について

「あなたは主にどこで本を読んであげていますか」については、「自分の家で」が 90%を超え、「市の図書館や図書館分庫で」が初めて 10%を超えました。※6ブックスタート支援事業」や※7０歳児からの読み聞かせ」を通して図書館利用者が増えてきた結果と見ることが出来ます。

【主にどこで本を読んであげていますか】
複数回答/回答者　単位：%

	今回	前回	前々回
自分の家で	91.0	92.4	92.9
市の図書館や図書館分庫で	11.5	5.7	5.4
児童館の分庫で	0.3	0.4	0.0
移動するときのバスや車の中で	2.6	2.7	1.8
その他	4.9	8.7	9.4

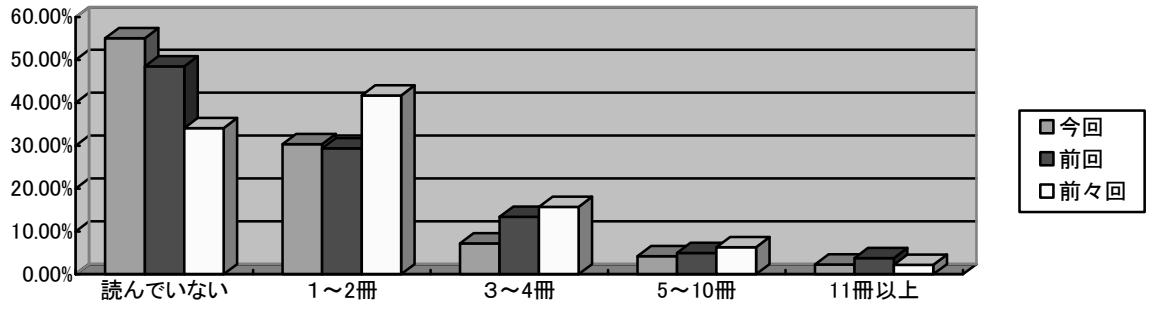
【お子さまへの本をどのようにして選びますか】
複数回答/回答者　単位：%

	今回	前回	前々回
書店で、選んで買って読む	62.4	68.6	73.7
幼稚園・保育所などから薦められて	14.3	8.3	12.5
市の図書館や分庫に行って	39.3	34.8	39.7
市の図書館の図書案内や司書に相談して	1.3	1.9	1.3
友人などに薦められて	8.6	4.9	3.6
テレビやラジオ、新聞、雑誌などで紹介している本に興味をもって	24.8	12.9	16.5
その他	17.5	21.2	11.2

また、「お子さまへの本をどのようにして選びますか」では、「書店で、選んで買って読む」、「市の図書館や分庫に行って」の順は変わりませんが、「テレビやラジオ、新聞、雑誌などで紹介している本に興味をもって」が 24.8%と伸びてきています。

（３）就学前の子どもを持つ保護者の読書について

就学前の子どもを持つ保護者自身が「１ケ月平均何冊の本を読みますか」については、「読んでいない」が 55.1%と初めて５割を超しました。



【あなた自身は月平均何冊の本を読みますか】

「読んでいない理由」では、「子育てや家事、仕事が忙しくて読書の時間がとれないから」、「ほかにやりたいことがあるから」と前回・前々回と理由は変わりませんが、その率はそれぞれ高くなっていました。

【読んでいない理由】　複数回答/回答者　単位：%

	今回	前回	前々回
本を読むのがきらいだから	9.1	8.7	5.3
子育てや家事、仕事が忙しくて読書の時間がとれないから	84.1	73.2	75.0
どんな本がおもしろいかわからないから	7.6	3.9	6.6
ほかにやりたいことがあるから	28.4	25.2	19.7
読みたいと思う本が身近にないから	10.7	13.4	15.8
その他	2.1	8.7	6.6

（４）保護者の子どもの読書への意識について

【お子さまの成長に読書はどのような効果があると思いますか】

複数回答/回答者　単位：%

	今回	前回	前々回
想像力や感性を育てる	83.4	83.6	84.4
表現力や創造性を育てる	60.1	66.0	61.6
読解力を養う	70.3	65.6	60.7
知識を豊富にする	61.3	58.4	52.2
読書する必要性は感じていない	0.4	0.0	0.0
スポーツや音楽などの習い事のほうが成長に大切だ	0.7	0.8	0.0
どのような効果があるかわからない	1.9	2.7	0.9
その他	2.6	2.3	1.8

「お子さまの成長に読書はどのような効果があると思いますか」との質問に対し、今回の調査でも「想像力や感性を育てる」「読解力を養う」「知識を豊富にする」「表現力や創造性を育てる」など読書への高い意識をもっていることがうかがえます。一方「読書する必要性は感じていない」とする回答が初めてありました。

第４章 第２次子どもの読書プラン推進の評価

１．第２次子ども読書プラン推進のための方策

平成２２から２６年度を期間とする第２次子ども読書プランでは、１次プランの方策を引継ぎ、「みんなで読書」「楽しく読書」「どこでも読書」の３方策を軸に計画を推進しました。

２次プランの方策と重点的に実施を行う施策としては次のものがありました。

方策１．「みんなで読書」

重点的に実施を行う施策

- ○　ブックスタート支援事業や子どもの読書の理解を深める機会の充実
- ○　家庭での読書や読み聞かせの推進
- ○　子どもが本や物語などとふれあう機会の充実
- ○　親子による読書活動の推進
- ○　関係施設や機関などとの連携による家庭での読書への支援
- ○　地域における読書環境の充実と読書活動の啓発

方策２．「楽しく読書」

重点的に実施を行う施策

- ○　各種行事や講演などを通じて読書に親しむ機会の充実
- ○　子ども読書週間の充実と子ども読書活動の啓発
- ○　読書や学習へのサポートの充実
- ○　関係施設などへの読書活動支援と啓発事業の充実
- ○　学校における読書活動の推進
- ○　ボランティア団体などと協力した読書活動の推進

方策３．「どこでも読書」

重点的に実施を行う施策

- ○　魅力ある図書館づくりと各種情報の提供と発信
- ○　地域や学校における読書環境の整備と充実
- ○　学校図書館の資料の充実と環境の整備
- ○　関係機関や施設などとの相互の連携による読書環境の充実

※8 **レファレンス**
図書や読書に関すること、日常生活に関することなど図書資料史に関することを使って調べられることについて、図書館職員が回答したり必要な情報源を紹介するサービス。

※9 **パスファインダー**
テーマを調べるために役立つ内容を、わかりやすく紹介などしている資料。

２．第２次子ども読書プラン実施状況と評価

（１）「みんなで読書」

「子どもの読書の理解を深める機会の充実」事業では、プレママクラブでの読書ＰＲを 24 年度で中止としましたが、23 年度開始のブックスタート事業、23 年度開始のゼロ歳児へのよみきかせ事業への整理統合によるものです。図書館利用統計では24年度以降児童書の貸出数が増えだしており、これらの事業の効果と見られます。

「よみきかせ会の充実」事業では、図書館内外や市内小学校で多くのよみきかせ会が行われていますが、それぞれが点の活動となっています。就学前の子どもに対するアンケートにも「読書する必要性は感じていない」という回答が寄せられており、図書館が中心となって情報交換や情報提供を進め、より多くの子どもがよみきかせを楽しむ面の活動作りが必要でといえます。

「読書相談・※8レファレンスの充実」事業では、図書館窓口や電話で随時対応しているものの、アンケートでは「年齢別におすすめの本を教えてほしい」とあるように、今後掲示物やパンフレット等の工夫が求められています。

「親子による図書館利用の促進」事業と「児童館・分庫などの読書環境整備」事業では、利用拡大のため管理団体と図書館との協議や周知ＰＲが必要です。

（２）「楽しく読書」

「子ども読書週間や図書館まつりにおける子ども向け行事の充実」事業では、図書館利用のきっかけとなるよう子ども向け企画展示を今後とも工夫が求められており、図書館まつりでもより多くの子どもたちが楽しめる企画が必要です。

「レファレンスや※9パスファインダーの充実」事業では、年間レファレンス数が150 件ほどと利用が少なく、子どもむけ利用はほとんどありません。これまでのレファレンス内容をパンフレットにする（パスファインダー）などの工夫で、制度利用のＰＲを積極的に進める必要があります。

「図書館と学校などの教育機関との連携」事業では、道立図書館職員を講師に講習会が開かれており、市立図書館も学校図書館の環境整備に連携しています。ブックトーク事業は平成 24 年度より実施校を増やしていますが、年々実施要望校が増えており事業の拡充が求められます。

「学校における読書活動の充実」の事業では、市内小中学校で取り組まれている朝読書、また平成 25 年度より１名配置となった学校司書の効果もあって、アンケー

※10. **団体貸出制度**
保育園や幼稚園、小学校のクラス、福祉施設等地域・職域・学校その他の市民の団体は、図書資料を一団体三百冊以内、視聴覚資料一団体五巻以内で、一箇月以内の貸出が出来る制度。

※11. **クリオネ文庫**
学校巡回図書。市立図書館の本を小学校の各学級に三十冊を配置し、毎月単位で教室を巡回させている。学校生活の中で自由により多くの本に親しんでもらうため、各小学校のご協力のもと市立図書館で行っている事業。

トの「どこで本を読みますか」の質問に「学校の図書館や教室」と答える子が 64%と前回・前々回より高い率になっており、その要因の一つと見られます。

「※10 団体貸出制度の利活用の促進」事業では、幼稚園や保育園単位、あるいは小学校のクラス単位で活用できる団体貸出制度の利用が減少傾向にあることから、周知ＰＲに努め、より多くの団体が読書を楽しむ環境のサポートが必要です。

「書店などとの連携を深め、紹介陳列などにおける読書の推進啓発」事業は未実施となりました。

（３）「どこでも読書」

平成 16 年度より試験的に開始した「※11 クリオネ文庫」は、現在市内小学校の全クラスに配置し定着しています。今回の読書アンケートでも、「どこで本を読みますか」の質問に「学校の図書館や教室」と答える子が 64%と高い率になっている要因の一つと見られます。

「学校図書館の蔵書資料の充実」事業では、平成 25・26 年度に学校図書館資料の更新が積極的に進められております。「学校図書館資料管理の電子化の推進」事業もすでに導入されており、学校図書館のさらなる利用拡大が期待されております。

「幼稚園・保育園などの幼児教育や保育施設との連携」事業では、図書館で行われる子供向け行事を案内する単発的な取り組みとなっており、今回のアンケートも参考に、連携へ向けた情報交換が必要となっています。

「第 2 次あばしり子ども読書プラン計画事業　実施結果一覧」 参照

第２次網走子ども読書活動推進計画事業実施結果一覧　１

	計画事業	実施内容	評　　価	実施主体
１みんなで読書	子どもの読書の理解を深める事業の実施	プレママクラブで読書ＰＲ。（保護者に負担とならないよう24年度見直し）	24年度末で中止	保健ｾﾝﾀｰ・図書館
		ゼロ歳児への読み聞かせ実施。（23年度より毎月第4水曜日に実施）	毎月一定数の参加者で好評である。	図書館
		一日図書館員体験を継続実施。	応募も多く、好評である。	図書館
	ブックスタート支援事業の充実	事業内容拡大（本の配布）実施。（23年度より）	23～25年度実施率は94％96％84％と好評である。	保健ｾﾝﾀｰ・図書館
	よみきかせ会の充実	図書館内で毎週土曜日実施。	毎回一定数の参加者で好評である。	ボランティア団体・図書館
		子育て支援センターで実施。	ボランティア団体や保護者・図書館と分担し好評実施。	子育て支援課
		市内小学校でＰＴＡ等ボランティアによる実施。	ほとんどの小学校にPTAサークルがあり活動中。	ボランティア団体・小学校・中学校
	家庭で読書を支援するための各種講習会等の開催	図書館やボランティア団体主催の講習会実施。	毎年ボランティア養成講座を開催し好評である。	ボランティア団体・図書館
	読書相談・レファレンスの充実	図書館窓口・電話で随時対応。	利用拡大のため周知PRが必要。	図書館
	親子による図書館利用の促進	児童館設置以外の分庫に、一般書と児童書を配置。	利用拡大のため周知PRが必要。	図書館
	図書館の利用や読書を行うための情報の提供	市広報、ＨＰ、図書館だよりによる情報提供。	実施中。	図書館
		図書館ＨＰへ蔵書目録の公開を実施。	実施済み。	図書館
	幼稚園や保育園による家庭への読書支援	家庭へ絵本等の貸出実施（一部施設）	一部園で実施中。	幼稚園・保育園
	家庭教育支援事業との連携と協力	子どもと読書の大切さＰＲ等を、家庭教育支援の各事業で実施。	実施中。	社会教育課・図書館
	児童館・分庫などの読書環境の整備	定期的な巡回と図書資料の見直しを実施。	年2回の入替と整備を実施中。	子育て支援課・市民課・図書館
	地域の関係施設や団体との連携	市内コミセンと連携し読書活動の啓発実施。	読書環境整備の要望を随時検討。	市民課・図書館
		市立図書館と管内三大学の相互貸借実施。	実施中。	図書館
２楽しく読書	各施設等におけるよみきかせ時間の充実	幼稚園･保育園でのよみきかせ時間の充実が図られている。	実施中。	幼稚園・保育園・小学校・図書館
	子ども読書週間や図書館まつりにおける子ども向け行事の充実	子ども向け企画展示、啓発事業を実施。	利用拡大のために工夫し、好評。	図書館
		図書館まつりの俳句展等子ども参加型事業実施。	毎年多くの参加があり好評である。	図書館
	レファレンスやパスファインダーの充実	読書や学習へのサポートの充実。	実施中。	図書館
		25年度タブレットパソコンの導入。	25年度利用596件。	図書館

第２次網走子ども読書活動推進計画事業実施結果一覧　2

	計画事業	実施内容	評　　価	実施主体
２楽しく読書	図書館と学校などの教育機関との連携	学校図書館担当者と市立図書館の連携会議開催。	毎年実施。	小学校・中学校・図書館
		講師を招いて講習会開催。	毎年実施。学校に喜ばれている。	小学校・中学校・図書館
		ブックトーク事業の開催	好評で全ての要望に応えられない。	小学校・中学校・図書館
		市内三高校の連続企画展開催(25年度より)	来館者にも好評である。	高校・特別支援校・図書館
	学校における読書活動の充実	10分間読書（朝読・休み時間）の実施。読書週間。	継続実施中。	小学校・中学校・高校
		学校図書館司書の配置（25年度より）	25年度1名配置	管理課
	ふるさと学習支援の活用	関係機関の協力で網走に関する資料展示。	4回/年、実施中。	関係機関・図書館
	団体貸出制度の利活用の促進	幼稚園・保育園・小学校で活用され、読書活動の充実に努めている。	実施中。	図書館
	ボランティアと協力した読書の普及活動の実施	市立図書館におけるよみきかせ会やイベントへのボランティアの協力	多くのボランティアの協力がある。	ボランティア団体・図書館
		小学校でＰＴＡやボランティア団体による実施	多くのボランティアの協力がある。	ボランティア団体・管理課
		地域ボランティアの協力よるよみきかせ活動を実施。	多くのボランティアの協力がある。	ボランティア団体
	ボランティアの育成事業の実施	朗読講習会、布絵本講習会を毎年開催。	毎年実施。参加者も多い。	図書館
	書店などとの連携を深め、紹介陳列などにおける読書の推進啓発	未実施。	未実施	書店・図書館
３どこでも読書	図書館における豊かな蔵書の充実と、展示・配架の充実	学習要求や学習課題に対応するため蔵書の充実と、適切な配架に努めている。展示は毎月実施。	購入資料の厳選、寄付資料の活用に努めている。	図書館
	図書館における各種情報の発信	市広報､HP､図書館だよりによる情報発信。	毎年改善し実施。	図書館
	地域分庫や児童館分庫の整備と利用の啓発	毎年入替実施。分庫だよりの配布実施。	より多くの利用のため工夫が必要。	子育て支援課・図書館
	クリオネ文庫（学校巡回図書）の充実	市内小学校全クラスにて活用。	喜ばれて活用されている。好評。	小学校・管理課・図書館
	学校図書館の蔵書資料の充実	図書資料更新を進めている。	文科省基準を満たすべく更新中。	小学校・中学校・管理課
	学校図書館資料管理の電子化の推進	学校図書館へ図書管理システムを導入済み。	導入済み。	小学校・中学校・管理課
	学校図書館資料の整備の充実	市内小学校でＰＴＡや地域ボランティアの協力より、図書館環境整備を実施。	多くのボランティアの協力がある。	小学校・管理課
	幼稚園・保育園などの幼児教育や保育施設との連携	子ども向け行事の案内。	子ども向け行事に、随時参加を呼び掛けている。	幼稚園･保育園 ・子育て支援課・図書館
	関係機関との連携による読書環境の整備	道立図書館、近隣図書館、大学との連携。	相互貸借を活用している。	道立図書館・近隣図書館・管内大学・図書館

※14. **読書週間**
昭和22年、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、第1回読書週間が開催されました。
そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）と定められ、この運動は全国に拡がっていきました。

第5章 子どもの読書活動推進のための方策

１．みんなで読書

（１）市民みんなで子どもの読書活動を支援していきます

少子・核家族にあっては地域のいろいろな場所で読書活動が行われることが望ましく、地域全体が子どもたちを支援する役割を担っています。

このため、市民がそれぞれの立場からできることを支援していくことが大切で、地域で読書ボランティア活動を進める団体の活動を支援し、またよみきかせ等のボランティア育成事業を行います。子どもの読書活動を直接支援する事業として、ブックスタート事業、ゼロ歳児から読み聞かせに始まり、児童館・地域分庫での読書環境整備、地域関係団体や高校との連携した事業を行います。家庭での読書活動支援として読書相談や親子による図書館利用を促進し、幼稚園・保育園による家庭読書支援も引き続き実施していきます。

また新たに、読書の励みとなるような読書感想文コンクール事業、読書ノート事業、図書館が幼児の選書をお手伝いする選書ブックパック事業を始めます。

（２）大人の読書活動を推進します

本が好きな子どもを育てるには、本が好きな大人が周りにいることが大切です。このため、市民全体の読書活動を促進するために市立図書館では魅力ある図書館づくりを行い、様々なサービスの充実に努めていきます。

また新たに、図書館ホームページを活用しておススメ本の紹介等の読書推進サービスを開始します。

（３）読書活動に関する情報提供を推進します

市広報紙や図書館だより、ホームページなどを媒体に読書活動に関するＰＲに努め、市民に読書活動への理解を広げていきます。

また、読書活動のボランティアを行っている市民には情報提供を行います。

２．楽しく読書

（１）幼稚園・保育園等での読書活動を推進します

幼稚園・保育園等でのよみきかせは、子どもたちに豊な感情を芽生えさせ、言葉の発達と想像力を培う大切な時間です。このよみきかせ等の読書活動で心豊な子どもを育てます。新たに児童館でのよみきかせも始めます。

※12 **地域分庫**
市内十カ所に分庫を開設
もこと分庫▼中央地区総合研修センター内・毎週土曜日13時～15時開館
北分庫▼北児童館内・児童館開館時間内
西分庫▼西児童館内・児童館開館時間内
つくし分庫▼つくし児童センター内・児童館開館時間内
潮見分庫▼潮見児童センター内・児童館開館時間内
かつら分庫▼桂町児童センター内・児童館開館時間内
よびと分庫▼呼人コミュニティセンター内・火～日曜日9時～22時
ふれ愛分庫▼西網走コミュニティセンター・木～火曜日9時～22時
うらしべつ分庫▼浦士別郵便局内・月～金曜日9時～17時
こまば分庫▼駒場住民センター内・月～土曜日9時～19時

※13 **子ども読書の日**
法律により、4月23日は「子ども読書の日」と定められています。これは、国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために設けられたものです。この日を中心に、学校・地域・家庭を通じて、子どもの自主的な読書活動が、より一層進められることが望まれます。

（２）学校での読書活動を推進します

学校の読書活動により、子どもたちは読解力や表現力を身につけ、本を通して様々なことを学び自己判断力を高めることができます。

学校では、教科や総合的な学習の時間、10分間読書などで学校図書館や市立図書館の利用が進められており、今後も子どもの主体性を大切にしながら、子どもたちの読書活動を推進していきます。具体的にはボランティア団体と学校の連携による読書の普及活動や、小学校と図書館が連携しクリオネ文庫、ブックトーク事業、団体貸出制度の利活用により、本との楽しい出合いをつくります。

また、小・中学校においては学校生活で一番身近な学校図書館の整備・充実のため、学校司書の増員配置、蔵書資料の計画的更新を進めていきます。

３．どこでも読書

（１）家庭・地域における子どもの読書活動を推進します

家庭は、子どもたちが読書する習慣を身につける最初の場です。身近な大人が身体で触れ合い言葉で話しかけることが、子どもの心の成長と言葉の発達に大きな役割を果たします。

このため、子どもが初めて本に触れ合う場としての家庭での読書活動を充実させることが大切で、保護者に家庭での読書の楽しさ・大切さを伝えます。

また、学校図書館以外で子どもがいつでもどこでも読書活動できる場を提供するため、※12地域分庫や児童館分庫の整備を促進し、充実させていきます。

（２）図書館における子どもの読書活動を推進します

図書館は地域の情報拠点として、また、本を読んだり、本を通して調べものをするなど生涯学習の拠点としての役割を果たしています。

子どもたちに市立図書館の機能を活かした読書活動の推進を図るため、蔵書の充実や展示の工夫、ふるさと学習支援事業等を行います。

新たに児童生徒におススメ本を紹介してもらうおすすめＰＯＰ事業や、パスファインダーをホームページに掲載することでより多くの方に活用いただくパスファインダーの充実事業を開始します。

また、※13子ども読書の日や※14読書週間、子どもための読書関連事業実施、新たにこれら事業のＰＲ誌事業を開始するなど、市全体で子どもが利用しやすい図書館づくり、子どもも大人も楽しく読書する環境づくり進めます。

「第３次網走市子どもの読書活動推進計画　事業一覧」　参照

第3次網走市子どもの読書活動推進計画　事業一覧

1. みんなで読書

（1）市民みんなで子どもの読書活動を推進します

計画事業		事業内容	対象	実施主体	事業実績
①ボランティア活動を支援していきます					
1	ボランティアと協力した読書の普及活動支援	地域ボランティアの協力によるよみきかせ活動等を支援	小・中・高校生	ボランティア団体・図書館	継続
2	ボランティアの育成事業	朗読講習会、布絵本講習会、よみきかせ講習会等の開催	大人	図書館	継続
②子どもの読書活動を支援していきます					
1	子どもの読書の理解を深める事業	ブックスタート事業	乳幼児	図書館・保健ｾﾝﾀｰ	継続
2		0歳児へのよみきかせ	乳幼児	図書館	継続
		一日図書館員体験	小学生	図書館	継続
3		読書感想文コンクール	小・中学生	学校・管理課	新規
4	よみきかせ会	「えほんのもり」でよみきかせ	乳幼児	ボランティア団体・図書館	継続
5		子育て支援センターでよみきかせ	乳幼児	子育て支援課・図書館	継続
6		市内小学校でＰＴＡ等ボランティアによる実施。	小学生	ボランティア団体・管理課	継続
7	児童館・分庫などの読書環境の整備	図書資料の定期的入替と利用啓発	乳幼児・小学生	子育て支援課・市民課・図書館	継続
8	地域の関係施設や団体との連携	市内コミセンと連携し読書活動の啓発実施	小・中・高校生	市民課・図書館	継続
9		市立図書館と管内三大学の相互貸借実施	小・中・高校生	管内大学・図書館	継続
10	高校との連携	市内三高校の連続企画展開催	高校生	高校・図書館	継続
11	書店との連絡・連携	書店と図書館が連携し、子どもたちへの優良図書の推奨PR	小・中・高校生	書店・図書館	継続
12	読書ノート事業	読んだ図書の記録を残すことで本に親しみ、読書意欲の向上を喚起する	小・中・高校生	図書館	新規
13	選書ブックパック事業	子どもの年齢に適した本をあらかじめ選書し、セットにして貸出を行う	乳幼児	図書館	新規
③家庭での読書活動を支援していきます					
1	家庭で読書を支援するための各種講習会	よみきかせ講習会等を開催	保護者	図書館	継続
2	読書相談・レファレンスの充実	図書館窓口・電話で実施	小・中・高校生	図書館	継続
3	親子による図書館利用の促進	図書館本館の蔵書整備充実に努め、親子による利用を促進	小・中・高校生・保護者	図書館	継続
4		児童館設置以外の分庫に一般書と児童書を配置	小・中・高校生・保護者	市民課・図書館	継続
5	幼稚園や保育園による家庭への読書支援	絵本等の貸出（一部の園）	乳幼児	幼稚園・保育園	継続

（2）大人の読書活動を推進します

計画事業		事業内容	対象	実施主体	事業実績
①魅力ある図書館作りを推進します					
1	魅力ある資料の収集	市民の学習要求や課題に対応した資料の整備	大人	図書館	継続
2	高齢者や障がい者への読書活動支援	高齢者や障害者への読書サービス実施	大人	図書館	継続
3	図書館HPを活用した読書推進サービス	図書館からのおススメ本の紹介など、HPを活用したサービスを実施	市民	図書館	新規

（3）読書活動に関する情報提供を促進します

計画事業		事業内容	対象	実施主体	事業実績
①市民に読書活動への理解を広げていきます					
1	図書館の利用や読書を行うための情報の提供	市広報、ＨＰ、図書館だより等による情報提供の充実	市民	図書館	継続
2		図書館ＨＰへ蔵書目録を公開	市民	図書館	継続
3	読書活動に関する情報提供	読書活動サークルや団体に情報を提供しながら、活動を支援	市民	図書館	継続

2．楽しく読書

（1）幼稚園・保育園等での読書活動を支援します

計画事業		事業内容	対象	実施主体	事業実績
①読書活動で心豊かな子どもを育てます					
1	よみきかせ	幼稚園・保育園でのよみきかせ実施	幼稚園・保育園児等	幼稚園・保育園等	継続
2		児童館での夏休み・冬休み期間中のよみきかせ実施	小学生	図書館	新規
3	団体貸出制度の利活用の促進	団体貸出制度の利活用を促進し読書活動を支援	幼稚園・保育園児等	幼稚園・保育園等・図書館	継続

（2）学校での読書活動を推進します

計画事業		事業内容	対象	実施主体	事業実績
①本との楽しい出会いをつくります					
1	学校における読書活動の推進	10分間読書（朝読・休み時間）、学校読書週間など読書時間の充実	小・中学生	学校・管理課	継続
2	図書館と学校の連携	学校図書館担当者と市立図書館の連携会議開催	小・中学生	学校・管理課・図書館	継続
3		講習会開催	小・中学生	学校・管理課・図書館	継続
4		ブックトーク事業の開催	小・中学生	学校・管理課・図書館	継続
5	ボランティアと協力した読書の普及活動	ＰＴＡやボランティア団体による読み聞かせ・人形劇等の実施	小・中・高校生	ボランティア団体・学校	継続
6	クリオネ文庫（学校巡回図書）	市内小学校全クラスへ一斉配本し、活用	小学生	学校・図書館	継続
7	団体貸出制度の利活用の促進	団体貸出制度の利活用を促進し読書活動を支援	小・中・高校生	学校・図書館	継続

②学校図書館の整備・充実を図ります					
1	学校における読書活動の充実	学校図書館司書の配置、増員	小・中学生	学校・管理課	拡充
2	学校図書館の蔵書資料の充実	計画的な資料更新	小・中学生	学校・管理課	継続
3	学校図書館の環境整備	ＰＴＡや地域ボランティアの協力より、学校図書館環境整備	小学生	学校・ボランティア団体	継続

3. どこでも読書

（1）家庭・地域における子どもの読書活動を推進します

計画事業		事業内容	対象	実施主体	事業実績
①保護者に家庭での読書の楽しさ・大切さを伝えます					
1	家庭教育支援事業との連携と協力	子どもと読書の大切さＰＲ等を、家庭教育支援の各事業で実施	乳幼児・小学生	社会教育課	継続
2	社会教育課主催事業との連携と協力	子どもと読書の大切さ及び本の楽しさＰＲ等を、各事業で実施	小・中学生	社会教育課	新規
②子供がいつでも読書活動できる場を提供します					
1	地域分庫や児童館分庫の整備と充実	毎年入替実施。分庫だよりの配布	小・中・高校生	子育て支援課・市民課・図書館	継続

（2）図書館における子どもの読書活動を推進します

計画事業		事業内容	対象	実施主体	事業実績
①市立図書館の機能を活かした読書活動の推進を図ります					
1	蔵書の充実と、展示・配架の工夫	学習要求や課題に対応するため蔵書を充実し、適切な配架に努める	小・中・高校生	図書館	継続
2	おすすめＰＯＰ事業	児童・生徒のおススメ本をＰＯＰにしてもらい、その本とＰＯＰを図書館で展示	小・中・高校生	図書館	新規
3	レファレンスやパスファインダーの充実	読書や学習へのサポートを充実し、読書への興味と関心を高める	小・中・高校生	図書館	継続
4		タブレットＰＣの館内貸出	小・中・高校生	図書館	継続
5		保護者や関係者が活用できるよう、パスファインダーをＨＰに掲載	小・中・高校生	図書館	新規
6	ふるさと学習支援事業	ふるさと網走に関する資料の展示等による紹介機会の充実	小・中・高校生	図書館	継続
7	幼稚園・保育園などとの連携	子ども向け行事の実施、案内	幼稚園・保育園児	図書館	継続
②子供が利用しやすい図書館づくりをします					
1	子ども読書週間や図書館まつりにおける子ども向け行事	子ども読書週間に読書に親しむ機会の充実と、読書活動の啓発	乳幼児～高校生	図書館	継続
2		図書館まつりの俳句展等子ども参加型事業実施	乳幼児～高校生	図書館	継続
3	ボランティアと協力した読書の普及活動	図書館におけるよみきかせ会やイベントへのボランティアの協力	乳幼児・小学生	ボランティア・図書館	継続
4	小・中学生向けPR誌事業	夏休み前等に図書館利用案内やおすすめ図書を記載したパンフレットを作成配布	小・中学生	学校・図書館	新規
③大人も子どもも楽しく読書する環境をつくります					
1	関係機関との連携による読書環境の整備	道立図書館、近隣図書館、大学との連携。	子ども～大人	図書館	継続
2	地域分庫の整備	図書館からの遠隔地に住む市民のため地域文庫の充実をはかる	子ども～大人	市民課・図書館	継続